

目 次

口 絵	
序	都幾川村長 田中郁也
発刊のことば	都幾川村教育委員会教育長 宮崎政治
発刊にあたって	都幾川村史編さん委員会委員長 大野養平
監修のことば	埼玉大学名誉教授 小野文雄
凡 例	
目 次	(1)
図・表・写真目次	(1 1)
編集方針と構成	(1 8)
総 説	
第 1 章 自 然	
第 1 節 位 置	3
1 自然位置	3
2 位置関係	5
第 2 節 地形と地質	8
1 地形と地質の概要	8
地形の特徴／2つの地質時代／構成する岩石の時代の特徴／ 山地を構成する岩石	
2 大地の生い立ち	1 2
泥の海から／海底の火山活動／珊瑚礁の残骸が語るもの／ つぶされた岩石／削られ続けてきた山々	
3 名の知れた岩	1 5
明神淵／カンカン石／磁石石／三波溪谷の岩石／慈光七石／ 牛石（信濃石）／琵琶石／男鹿岩／女鹿岩／冥官岩／稚児岩（童子石）／ 冠岩／座禅岩／小戸々石／湯穴／柵平周辺の名の付いた岩石／光岩／ 長岩／三境の滝／猿・コウセン岩／エボ岩／磁石	

第3節 気 候	2 8
1 埼玉の気温分布	2 8
2 都幾川村の気温	2 9
(1) 年平均気温	2 9
(2) 斜面の気温観測	2 9
大附の観測／柵平の観測／大附の最低気温の移動平均値	
3 降水と積雪	3 9
(1) 埼玉県の降水量と降雪	3 9
(2) 都幾川村の降水量	4 0
(3) 都幾川村の積雪と分布	4 1
都幾川村の積雪／積雪調査の方法／積雪記録の結果／	
積雪と高度の関係	
4 気候と生活	4 6
刈場坂峠のスキー場／都幾川村のスケート場／ミカン園の分布／	
茶畑の分布	
第4節 植 生	5 1
1 植物の概観	5 1
2 四季の植物	5 1
3 山 菜	5 5
4 帰化植物	5 6
5 天然記念物（県指定）の植物	5 7
(1) タラヨウジュ（多羅葉樹）	5 8
(2) 大カヤ（大榎）	5 8
(3) 萩日吉神社社叢	5 8
第2章 行政の沿革と地名	
第1節 村の沿革	6 3
1 近世の村から近代の村へ	6 3
江戸時代の村々／管轄県の変遷／戸籍区から行政区へ／	
連合村の設置	
2 明覚村・平村・大柵村の誕生	7 2
明覚・平・大柵村の成立	

3	都幾川村の成立	74
	合併の経緯／都幾川村の誕生	
第2節	都幾川村の地名	77
1	地名「都幾川」に由来	77
2	都幾川村の大字・小字地名	79
3	都幾川村の地名分類	80
(1)	自然環境関連地名	80
	①地形関連地名	
	山地関連／崩壊地・窪地関連／河川関連／池沼・湧水関連	
	②位置関連地名	
	③岩石関連地名	
	④気象関連地名	
	⑤動植物関連地名	
	動物関連／植物関連	
(2)	生産・流通関連地名	89
	①農林業関連地名	
	原野・開拓関連／耕地・用水関連	
	②交通関連地名	
(3)	伝承・信仰関連地名	90
	支配者・開拓者関連／伝説・伝承関連／信仰関連	
4	都幾川村地名一覧	92
第3章	人口の動向	
第1節	村域の人口と世帯	107
1	人口の社会的・経済的属性	107
	総人口と人口密度／男女別・年齢別人口／就業者と通学者の流動／	
	労働力人口／就業者の産業別構成	
2	世帯の規模と類型	110
	世帯規模／世帯の家族類型／世帯の経済構成	
3	人口の地域的分布	111
第2節	国勢調査以前の人口	114
1	明治前期の人口	114

2	明治中期の人口	1 1 6
3	明治後期の人口	1 1 7
4	大正期の人口	1 1 9
第3節	国勢調査人口の推移	1 2 2
1	世帯と寺光	1 2 2
2	年齢別人口構成	1 2 5
3	通勤者の流出・流入	1 2 8
	就業者の従業地と常住地／通勤者の推移／通勤者の流出・流入相手地域	
4	通学者の流出・流入	1 3 7
第4節	住民登録による人口動態	1 4 0
1	自然胴体（自然増減）	1 4 0
2	社会動態（社会増減）	1 4 1
第4章	土地利用と産業の進展	
第1節	土地利用	1 4 7
	明治期の土地利用／昭和恐慌期の土地利用／都幾川村誕生以後の土地利用	
第2節	産業の動向	1 5 4
1	近代産業発展期	1 5 4
(1)	産業化の芽生え	1 5 4
	明治初期の民業／『郡村誌』の物産／明治末期の農産と工産	
(2)	恐慌期・戦時期の産業の動向	1 5 9
	産業別就業者構成／恐慌期の産業別生産構成／戦時下の農家の兼業構造	
2	戦後の産業構造変革期	1 6 4
第3節	農業の変遷	1 6 7
1	明治期の農業生産	1 6 7
	耕地の動向／主要農産物	
2	戦前・戦中の農業	1 6 8
	恐慌期の土地利用／恐慌期の養蚕業／戦時下の農家の経営形態	
3	戦後の農業と畜産	1 7 4
	昭和20年代の農業／農家と経営耕地の減少／農業所得構造の推移／畜産の推移	
第4節	林業の推移と森林組合	1 8 4
1	林業の推移	1 8 4

(1)	明治・大正期の林業	185
(2)	昭和期の林業	186
	昭和初期の林業／昭和10年代の林業／戦後の林業／針葉樹林化と林業の衰退	
2	森林の所有形態と森林組合	190
(1)	共有林と森林組合	190
	都幾川村有林／都幾川村森林組合／旧村有林と生産森林組合／	
	大字の共有林と維持管理組織	
(2)	共有林の分布	193
3	地区別の林業	196
4	これからの林業	199
第5節	地場産業の推移	202
1	村内における地場産業	202
	絹織物／和紙	
2	地場産業としての建具産業	204
(1)	建具産業の起源	204
(2)	戦前の建具産業	205
(3)	戦後の建具産業	206
	建具業者と従業員の推移／工場の立地変動	
(4)	経営構造と生産構造	208
	創業年代／資本金と企業形態／仕入れ先と製造工程／流通経路／	
	従業員の年齢構成／後継者問題	
(5)	これからの建具産業	213
第5章	交通の発展と商業・観光	
第1節	道路の整備と峠道の開削	217
1	都幾川村内の旧い道	217
(1)	明覚地区の秩父道と上州道	217
(2)	平地区の秩父道	219
(3)	大柵地区の旧い道	221
2	明治・大正期の道路整備	224
第2節	バス交通の発展と変遷	229
1	乗合馬車から乗合バスへ	229

2	東武バスの運行	232
3	村営バスの運行	234
第3節	八高線明覚駅の開業と利用	241
1	八高線の建設	241
2	明覚駅の開設と利用者の変遷	242
3	八高線の電化計画	244
4	八高線の列車事故	245
5	東武鉄道越生線の越生町—平村間延長運動	246
第4節	戦後の道路整備	248
1	飯能—寄居線の整備	248
2	大野—東松山線の整備	251
3	西平—小川線と明覚停車場線の整備	253
4	村道の整備	254
5	林道の整備	258
第5節	商圈と消費動向	261
1	全村における傾向	262
	食料品・日用雑貨／日用・高級衣料品／家具類／家電製品／時計・貴金属類／ 書籍・文具類／化粧品類／自動車など	
2	地区別の特徴	266
	明覚地区／平地区／大柵地	
第6節	都幾川村の観光	270
1	都幾川村観光協会	270
2	いこいの里大附（そば道場）	271
3	建具会館	273
4	大野特産物販売所	275
第6章	清流都幾川と村民の生活	
第1節	母なる川都幾川	279
1	比企の風土を育んだ清流	280
2	村と都幾川	281
3	都幾川の流量と形状	290
第2節	生活用水への利用	293

1	村内における生活用水	293
(1)	本郷の水	293
(2)	大附の水	295
	水境組／長生組／山岸組／中郷組／十六石組／本社組	
(3)	西平の水	299
(4)	雲河原の水	302
	上雲／下雲	
(5)	大野の水	305
	上サ耕地と中カ耕地／七重／第一開拓地／竹の谷／第二開拓地／下モ／八木成	
(6)	櫛平の水	313
	泉窪上水道組合／大清水道組合	
2	上水道の敷設	314
(1)	都幾川、玉川水道企業団	314
(2)	簡易水道組合	315
	西ノ沢簡易水道組合／大野簡易水道組合／下モ水道組合／七重簡易水道組合	
第3節	農業用水への利用	317
1	沿革	317
	江戸時代／明治時代	
2	現況	319
	大堰水利組合／本郷用水利用組合／平用水組合（上サ・宿水利組合）／ 野元用水／ため池	
第4節	水車（水力利用）	326
1	水車の概要	326
2	明覚地区の水車	327
3	平地区の水車	328
4	大櫛地区の水車	330
第5節	都幾川と砂防	333
1	砂防法の制定と事業の展開	333
2	砂防事業の概要	336
	砂防指定地／地すべり防止区域／急傾斜地崩壊危険区域／林務砂防	
3	都幾川村における砂防工事	339
	戦前の砂防工事／戦後の砂防工事／工事の地域的拡大／林務砂防工事	

各 説

第1章 明覚地区

第1節 概 況	3 5 1
1 位置と地形	3 5 1
2 集落の立地	3 5 3
第2節 大字・小字地名	3 5 6
1 番 匠	3 5 6
2 本 郷	3 6 1
3 別 所	3 6 3
4 田 中	3 6 8
5 桃 木	3 7 0
6 関 堀	3 7 3
7 馬 場	3 7 4
8 瀬 戸	3 7 7
9 大 附	3 8 0
第3節 人口の動向	3 8 7
1 地区の人口概要	3 8 7
人口の推移／産業別構成	
2 明治期の村（大字）別人口	3 9 1
明治9年の村別人口／明治20年の村別戸数	
3 大正・昭和戦前期の大字別人口（国勢調査）	3 9 4
4 戦後の大字別人口（住民登録人口）	3 9 7
第4節 明覚地区の土地利用と産業	4 0 1
1 土地利用の変遷	4 0 1
明治以前の土地利用／明治期の土地利用／昭和5～25年の土地利用／	
昭和30年以降の土地利用	
2 大附の観光ミカン園	4 1 0
戦前のミカン栽培／戦後のミカン栽培／立地条件	

第2章 平地区

第1節 概 況	4 1 5
---------	-------

1	位置と地形	4 1 5
2	集落の立地	4 1 6
第2節	大字・小字地名	4 2 0
1	西 平	4 2 1
2	雲河原	4 3 2
第3節	人口の動向	4 3 4
1	地区の人口概要	4 3 4
	人口の推移期尾久産業別構成	
2	明治期の村(大字)別人口	4 3 8
	明治9年の村別人口／明治20年の村別戸数	
3	大正・昭和戦前期の大字別人口(国勢調査)	4 4 0
4	戦後の大字別人口(住民登録人口)	4 4 4
第4節	平地区の土地利用と平宿	4 4 7
1	土地利用の変遷	4 4 7
	明治以前の土地利用／明治期の土地利用／昭和5～25年の土地利用／ 昭和30年以降の土地利用	
2	平 宿	4 5 4
	立地条件／平宿の沿革／平宿の機能	
第3章 大柵地区		
第1節	概 況	4 6 3
1	位置と地形	4 6 3
2	集落の立地	4 6 4
第2節	大字・小字地名	4 6 7
1	大 野	4 6 7
2	柵 平	4 7 6
第3節	人口の動向	4 8 2
1	地区の人口概要	4 8 2
	人口の推移／産業別構成	
2	明治期の村(大字)別人口	4 8 6
	明治4年の柵平村の人口／明治9年の村別人口／明治20年の村別人口	
3	戦後の大字別人口(住民登録人口)	4 8 8

第4節 大柵地区の土地利用と産業	492
1 土地利用の変遷	492
明治以前の土地利用／明治期の土地利用／昭和5～25年の土地利用／ 昭和30年以降の土地利用	
2 大柵地区の開拓	498
(1) 戦後の開拓事業の背景及び経過	498
(2) 大柵地区の開拓	499
上耕第一地区開拓／上耕第二地区開拓	
(3) 困難を極めた開拓地での生活	502
(4) 開拓地の変貌	504
3 木のむらキャンプ場	504
参考・引用文献一覧	507
都幾川村史編さん事業刊行物	509
資料提供者・調査協力者	510
都幾川村史編さん関係者	512
あとがき	